

令和 6 年度事業報告

国内旅行を取り巻く環境は、コロナ禍から脱却し順調に回復傾向にはあるが、一方で一部の観光地では、インバウンドの増加に対して受入れ環境の整備が追い付かないなどの「オーバーツーリズム」が表面化してきた。

当協会においても、台湾や韓国、香港から高松空港への直行便が増便され、増加したインバウンド客への対応として、従来から行っている飲食店メニューの多言語化への支援に加え、「インバウンドおもてなしセミナー」や「まるがめご当地通訳ガイド養成講座」を実施するなど、インバウンドの受入れ環境整備に努めた。

また、新規事業として市から指定管理を受託した、丸亀城延寿閣別館での「城泊（キャッスルエクスペリエンス）」事業の取り組みを7月1日から開始し、年度末までに3組・6名の宿泊体験を実施した。

3年ぶりの開催となる「ニッカリ青江公開展～かがやく日本刀の饗宴」では、全国各地から来亀される刀剣ファン（刀剣女子）の皆様に、思い出に残る旅となっただけのよう様々な仕掛けをご用意し、積極的なおもてなしを行った。

世界的に注目されている観光資源の「瀬戸内海」についても、丸亀市に属する「塩飽諸島」である本島・広島などの離島観光への支援策として、「離島航路運賃無料キャンペーン」や「宿泊助成事業」を市から受託・実施した。

そのほか、国や県、各種関係機関から提供される様々なアフターコロナの観光施策やその動向を注視しながら、地域の賑わいづくり創出や観光交流人口の増加に向け、市と連携して以下の事業を行った。

I 新規、重点事業

1 DMO推進事業

丸亀版DMO懇談会、リーディングプロジェクト会議の開催及び観光関連データの収集と整理、分析を行った。

（1）丸亀版DMO懇談会の開催

丸亀版DMO懇談会では、丸亀の観光振興や参加者同士の連携、新たな取組の創出等を図るため、今後の丸亀市における観光戦略について、自由にアイデアや意見をいただいた。

	実施日	参加人数	会場	主なテーマ
1	令和6年6月14日(金)	32	ボートレースまるがめ ROKU	ボートレースまるがめの活用について
2	令和6年9月26日(木)	20	市民活動交流センターマルタス	南街区拠点施設(仮)整備と観光まちづくりについて

(2) 丸亀版DMOリーディングプロジェクト会議の開催

テーマ：令和6年度「ニッカリ青江」イベント開催について

	実施日	参加 人数	会場	主なテーマ
1	令和6年6月25日(火)	30	市民活動交流センターマルタス	コラボ企画の説明及び各事業者の取り組みの進捗状況
2	令和6年9月4日(水)	36	市民活動交流センターマルタス	展示の詳細、コラボ企画等の詳細

(3) 観光データの収集と整理及び分析

DMO戦略を練る上で欠かせないのが、データの収集と整理、分析であり、観光客動向調査を丸亀城内観光案内所で年4回実施した。

春：5月16日～5月23日(8日間) 100サンプル

夏：7月20日～7月24日(4日間) 100サンプル

秋：9月23日～9月28日(6日間) 100サンプル

冬：12月19日～12月23日(5日間) 100サンプル

2 インバウンド（訪日外国人旅行者誘致）対策事業

(1) 観光情報サービス

- ①外国人観光客との対面対応時又は電話対応時に、電話等を介し9か国語対応可能な香川県多言語通訳・翻訳コールセンターに引き続き登録し、外国人来客の際にスムーズに案内ができるように備えた。

外国人利用人数 JR 丸亀駅観光案内所 1,105人

丸亀城内観光案内所 9,090人

- ②（一社）せとうち観光推進機構、（一社）山陰インバウンド機構、中国地域観光推進協議会が主催する「2024年度外国人観光案内所研修」に参加した。

日程 令和7年2月25日（火）

場所 岡山第一セントラルビル

- ③飲食店多言語メニュー開発支援事業

昨年に引き続き、インバウンド対応に取り組む賛助会員の飲食店店舗への支援として、メニューを4カ国の多言語に翻訳するサービスを実施した。

完成6件（申込7件）

- ④（新）インバウンドおもてなしセミナーの開催

賛助会員等地域の事業者を対象に、増加するインバウンド客への対応とおもてなしの機運を高めてもらうため、せとうち観光専門職短期大学の石床先生による講義と、全国通訳案内士の矢野先生による英会話セミナーを実施した。

日程 令和6年12月9日（月） 参加者19名

- ⑤（新）まるがめご当地通訳ガイド養成講座の開催

香川県内で活躍する通訳案内士の方々に、丸亀の歴史・文化についての知識を深めてもらい、インバウンド客への対応に生かしてもらうための1日講座を実施した。希望者に

は「国内旅程管理者」の資格取得に係る養成講座も併せて開催した。

日程 旅程管理研修：令和7年1月15日（水）から16日（木）まで 参加者6名

通訳ガイド養成講座：令和7年1月21日（火） 参加者17名

⑥（新）繁体字版「丸亀PRうちわ」の作成

丸亀城の外国人入場者数で一番多い国である台湾の公用語の繁体字を印刷した「丸亀うちわ」を作成し、年2回参加している「台湾商談会」等の際に販促品として令和7年度から使用する予定。作成数は竹うちわ100本。

（2）観光商談会、プロモーション等の実施

- ①「（一社）四国ツーリズム創造機構、四国アライアンス、JTB協定旅館ホテル連盟四国4支部が合同主催の「台湾商談会」に参加し、丸亀の観光PR活動を行った。

日程 令和6年7月9日（火）

場所 シーザーメトロホテル台北（台湾）

商談数 27社

- ②四国ツーリズム創造機構主催、「四国観光商談会2024 in 東京」に参加し、丸亀の観光PR活動を行った。

日程 令和6年10月3日（木）

場所 第一ホテル東京（東京都）

商談数 10社

- ③Beauty of Japan Tours（毎週、ポーランドからの団体旅行をうちわミュージアムに送客している旅行会社）に、上記②の商談会前日、現在うちわ作り体験のみでの滞在なので今後のツアー造成時に丸亀宿泊へ変更のお願いに訪問した。

- ④四国ツーリズム創造機構主催、「四国観光商談会2024 in 大阪」に参加し、丸亀の観光PR活動を行った。

日程 令和6年10月9日（水）

場所 ホテルグランヴィア大阪（大阪市）

商談数 8社

- ⑤Intrepid（豪州がメインの旅行会社）に、上記④の商談会前に訪問。SDGSに重きを置いているツアーのようで、丸亀市の取組について、非常に興味を示していただいた。

- ⑥四国ツーリズム創造機構主催の「2024年度四国インバウンド商談会 in Kochi」に参加し、海外旅行会社やランドオペレーター、OTA（インターネット旅行会社）などに丸亀の観光PR活動を行った。

日程 令和6年11月13日（水）

場所 ホテル城西館（高知市）

商談数 5社

- ⑦2県合同主催の「香川県・高知県台湾商談会」へ参加し、丸亀の観光PRを行った。

（台北）令和7年2月24日（月） 台北晶宴會館 民權館B1 商談数16社

（台中）令和7年2月25日（火） 全國大飯店 B1階 商談数17社

3 丸亀夜型観光推進事業

(1) 丸亀城石垣ライトアップ

石垣のライトアップを行い、市民や観光客に夜の丸亀城を楽しんでいただいた。

期間 令和6年9月14日(土)から11月17日(日)まで

(2) 丸亀城キャッスルロード

大手門から天守までをイルミネーションや竹あかりで幻想的に彩った。枳形の石垣や大手一の門に映し出すプロジェクションマッピングには、「ニッカリ青江公開展」にちなみ、京極家紋や伝説の石灯籠などを新たに加え、来場者の注目を集めた。また期間中には、音楽イベントなどを実施し誘客に努めた。

期間 令和6年9月14日(土)から11月17日(日)まで(65日間)

協力：うちわ工房竹、四国職業能力開発大学校、丸亀まちあかり実行委員会

	イベント名	開催日	内容	集客数(人)
1	丸亀城キャッスルロード	9月14日～ 11月17日	大手門から天守までの道をイルミネーションで点灯。(点灯式9/14)	16,891
2	丸亀城天守夜間特別開館	期間中の 土・日・祝日	16時30分から21時まで夜間開館を行った。(24日間)	2,946
3	丸亀城ナイトフェスタ	9月14日(土)	イベントステージやグルメブースなどを開催。 天守入城特典：月菜汁無料配布	1,000
4	丸亀まちあかり 2024 (共催事業)	9月14日(土)	「人とまちをあかりでつなぐ」をコンセプトに、マルタス前をランタンで照らし、あかりの道を演出。	
5	丸亀城・歴史散歩 (着地型観光まち歩き事業)	9月22日(日)	イルミネーションに彩られた夜の丸亀城を、提灯片手に専門ガイドと散策。	12(小人2)
6	IRISH MUSIC in 丸亀城	10月6日(日)	丸亀城大手一の門で、アイルランドの伝統音楽の演奏会を実施。	66

(3) ウィンターイルミネーション 2024-2025

JR丸亀駅南口広場を、四国職業能力開発大学校の協力のもとイルミネーションで装飾し、街ゆく人に楽しんでいただいた。

期間 令和6年12月13日(金)から令和7年2月2日(日)まで(52日間)

点灯式 12月13日(金)

4 ポートレースまるがめ連携事業

(1) 情報発信事業

JR丸亀駅構内等において、ポートレースまるがめのパンフレット設置や開催日程案内、イベントポスターの掲示を行うなど、積極的なPRに努めた。

(2) 30km圏内のイベント等でのボートレースまるがめPR事業

①SG 第70回ボートレースメモリアルおもてなしイベントの開催

日程 令和6年8月26日(月)から9月2日(月)まで

場所 ボートレースまるがめ3F 特設会場

内容 来賓用接待うどん「海侍」の出店、来賓用ケータリングの手配、丸亀うちわの実演およびうちわ貼り体験の実施、など。

②2025 新春運だめし!ガラボン大抽選会の開催

日時 令和7年1月1日(祝) 17:00~23:00(無くなり次第終了)

場所 2F イベントホール

内容 本場発売している全レースの未確定舟券1,000円分のレシート及び舟券をお持ちの方を対象に抽選会を開催(連続5回まで/回数制限なし)
当たり本数2,025本(司会 みっとしー(吉本興業所属))

(3) 観光客誘客事業

①対象宿泊施設(オークラホテル丸亀、スーパーホテル丸亀駅前、丸亀プラザホテル、ホテルアネシス瀬戸大橋、東横INN丸亀、アパホテル丸亀)利用者に向けた、入場無料券・フードコート300円分のお食事券をセットで配布するサービスを行った。

利用月	利用件数(件)	利用額(円)
4月	49	14,700
5月	190	57,000
6月	70	21,000
7月	115	34,500
8月	200	60,000
9月	146	43,800
10月	104	31,200
11月	117	35,100
12月	118	35,400
1月	104	31,200
2月	103	30,900
3月	111	33,300
合計	1,427	428,100

5 日本遺産の活用

(1)「本島・広島に泊まって日本遺産を巡ろうキャンペーン」

市離島振興室からの委託事業として、本島と広島の宿泊施設を利用し、日本遺産構成文化財を巡った観光客に対し、一人あたり3,000円を助成する事業を行った。

期間 令和6年7月20日(土)から10月31日(木)まで

助成人数 348名 助成額 985,000円(※R5年度280名)

(2)「毎月 20 日 航路運賃無料デー」PR 事業

市離島振興室が実施する毎月 20 日の離島航路運賃無料デーにおいて、ポスター・チラシの作成や SNS プレゼントキャンペーンの実施、WEB サイト・SNS での情報発信およびアンケートなどを行った。

6 体験型観光流通環境整備事業助成金事業の実施

体験型観光の充実を図り、旅行者の満足度の向上や滞在時間の拡大による地域での観光消費額の増加が期待できるとして、この事業に取り組む観光関連事業者が OTA へ支払う手数料の一部を支援する助成を開始した。また、市内の体験型観光を実施する事業者を紹介するチラシを作成し、事業の告知への協力を行った。

助成件数 1 件 助成額 90,202 円

7 (新) 指定管理事業

令和 6 年度より丸亀城内の大手一の門、延寿閣別館、天守の 3 館の管理運営を受託開始。

(1) 大手一の門管理運営業務

広く市民や一般の方に貸館として貸し出し、賃料は重要文化財の保存活用に役立てている。広報や商談会等で貸館についての PR を行っている。

実績 4 件

(2) 延寿閣別館管理運営業務

5 月に「丸亀城キャスルエクスペリエンス」の予約受付開始、7 月より宿泊開始。加えて、オプション体験プログラムの造成や販売に向けた商談会への参加、各種メディアへの露出および SNS 発信や視察等の受入対応も行った。

実績 3 件、合計 6 名様の宿泊（すべて国内在住者）

(3) 天守管理運営業務

7 月よりキャッシュレス決済を導入。入場者数の増加に繋げるよう、大手一の門と連携したイベントを 2 回開催した。キャスルロードの期間中の土日祝日に夜間開館を行った。

天守入場者数 120,244 人（うち外国人 5,399 人、過去最高）（※R5 年度 124,978 人）

8 (臨時) 歴史的資源を活用した観光まちづくり事業（国庫補助事業）

城泊事業をより効果的なものとするため、国の補助金を活用し、旧金毘羅街道沿いや本島など市内に残る古民家等の現地調査を行い、活用可能な歴史的資源の現状把握に努めた。

II. 継続事業

9 観光イベント等開催事業

(1) 丸亀城桜まつりの開催

令和 6 年 3 月 27 日から 4 月 10 日までの 15 日間、天守東から二の丸井戸周辺の桜を「桜の海」と称して上下からライトアップするとともに城内一円をボンボリで彩った。

(2) 丸亀の観光宣伝と物産展の開催

交流都市や各地のイベントに参加し物産展を行うことにより、丸亀の観光PRと地場産品の販路拡大を図るとともに各市町との交流・親善を深めた。

開催地	イベント名	開催日	内 容
東京都港区新橋 香川・愛媛せとうち旬彩館	旬彩館 丸亀ブランドフェア	7月3日(水)～ 7月9日(火)	飯南の桃、骨付鳥、丸亀うちわ等、市の特産品の販売や観光宣伝
大阪府大阪市北区 グランフロント大阪	大阪お城フェス 2024	8月10日(土)～ 12日(祝)	地場産品の販売と観光宣伝
さぬき市 長尾寺	さぬきバル竹あかり 長尾寺編	10月5日(土)	地場産品の販売と観光宣伝
石川県七尾市 (親善都市)	七尾秋の大市	11月2日(土)～ 3日(日)	うどんの製作実演販売や地場産品の販売等
秋田県由利本荘市 (友好都市)	やしま冬まつり	R7年2月22日 (土)	うどんの製作実演販売や地場産品の販売等

(3) その他イベントへの協賛

	イベント名	開催日	場 所	集客数(人)
1	チャコリの日	4月6日(土)	市役所前高質空間	800
2	第75回丸亀お城まつり	5月3日(祝)～4日(祝)	丸亀城周辺	287,000
3	桃喰うまつり	6月29日(土)	飯山北コミュニティセンター駐車場	3,000
4	第53回丸亀城菊花展	10月24日(木)～ 11月13日(水)	丸亀城大手門広場	30,723
5	あやうたふるさとまつり	11月2日(土)～3日(日)	アイレックス	3,000

10 島しょ部の施設整備及び美化清掃事業

(1) 本島・広島美化清掃事業

自然公園財団及び市の事業として、本島・広島地区の海水浴場・遊歩道の清掃を実施した。

・本島海水浴場 3か所 ・広島海水浴場 1か所 ・本島遊歩道清掃 3か所

(2) 広島江の浦、本島泊・屋釜3海水浴場の安全確保事業

7月15日(月)から8月11日(日)にかけて海開きを行い、海水浴場利用者の安全確保のため、遊泳禁止区域を示すブイの設置や監視船派遣等の事業を実施した。

11 観光情報発信事業

(1) 観光情報サービスの提供

①JR丸亀駅構内の案内所において、観光・宿泊・交通などの観光情報の提供を行った。

利用人数 24,022人 (※R5年度 13,607人)

利用状況 ・宿泊案内 39人 ・交通案内 3,448人

・観光案内 13,765人 ・電話案内 2,733人

・外国人案内 1,105人 ・その他 2,932人

②丸亀城内観光案内所においても、丸亀の特産品や観光情報の提供を行った。

- ③JR 丸亀駅構内に、瀬戸内中讃定住自立圏のパンフレット設置場所を作り、中讃 2 市 3 町の観光情報についての発信を行った。
- ④本島の遠見山・東山のハイキングコースの美化清掃や宿泊・観光案内など、塩飽諸島の観光情報提供等を行った。

(2) インターネットでの情報発信

高度情報化社会に対応し、インターネットでの観光情報の提供を行うため、ホームページや SNS を活用し、的確かつリアルタイムな情報を提供。9 月、10 月はニッカリ青江展示の情報発信をしていたこともあり、10 万件以上のアクセスがあった。3 月は桜の開花状況を毎日更新していたので、11 万件以上のアクセスがあった。

また、E メールによる観光客の問い合わせに対し、迅速に観光情報を提供した。紙のパンフレットの発送依頼は、やや減少傾向にある。

H P アクセス数 930,324 件 (※R5 年度 550,327 件)

E メールや電話連絡によるパンフレット送付数 228 件 (※R5 年度 235 件)

(3) 丸亀おもてなし割クーポン 2025 の発行

賛助会員協力店や丸亀城等で利用できるクーポン券を作成し、宿泊施設を中心に設置、配布することで、県外旅行者へのおもてなしに繋がった。

(4) スマホチャージスポットの設置

JR 丸亀駅観光案内所及び丸亀城内観光案内所に、持ち運び可能なスマートフォン充電器のシェアリングサービス「チャージスポット」のサービスを継続した。

12 丸亀城魅力向上事業（丸亀城イベント）

(1) 丸亀城の天守開放、大手一の門（太鼓門）開放

丸亀城天守を一般開放。

入館者数 120,244 人（再掲） (※R5 年度 124,978 人)

(2) 丸亀城正月おもてなし

元旦に来城された方に、大手門広場であめ湯の接待を行った。（提供数 400 人）

(3) 丸亀城イベント

来城者の増加を目指し丸亀城でイベントを開催した。

	イベント名	開催日	内 容	集客数（人）
1	丸亀城 ナイトフェスタ	9 月 14 日（土）	丸亀城キャッスルロード点灯式に合わせ、丸亀城名誉大使田村淳の天守誘導案内看板のお披露目やイベントステージ、グルメブースなどを開催。	1,000
2	新春フェスタ	R7 年 1 月 13 日（祝）	見返り坂を駆け上がりタイムを競う、一番福選手権やグルメブースなどを開催。	1,000

13 丸亀おもてなし事業

(1) 丸亀城お笑い人力車

丸亀城お笑い人力車芸人「大木亀丸」(吉本興業)に継続委嘱し、人力車の運行を行った。出演するボートレースまるがめ YouTube ライブ番組「ウチまる」の県外視聴者や観光客の乗車に加え、城泊事業のおもてなしとして、宿泊者を JR 丸亀駅から丸亀城までご案内した。また、「ニッカリ青江公開展」期間中に特別運行したラッピング人力車が好評で、10 月・11 月の集客増に繋がった。

人力車乗車数 752 人、月平均 62 人 (※R5 年度 711 人)

月別利用実績

(単位：人)

月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
人数	96	43	49	33	21	61	115	99	36	65	55	99

(2) 丸亀城と 12 人のお姫さま

(株)メロンブックスとのコラボレーションにより制作した丸亀城のお姫様キャラクターのショッピングバッグを活用し、観光イベント等の配布用として使用するなど、市や丸亀城の観光 PR に活用した。

14 ご当地キャラ運営事業

- ①丸亀市のご当地キャラクター「京極くん」「うちっ娘」「とり奉行骨付じゅうじゅう」を市内のイベントやご当地キャラ博 in 彦根などのイベントに参加させ丸亀の PR や誘客を図った。
出務日数 30 日(貸出を含まない。)
- ②とり奉行骨付じゅうじゅうをデザインした丸亀城石垣修復寄付金付き年賀ハガキを販売し、市民等に利用していただいた。

販売期間 令和 6 年 11 月 1 日から 11 月 23 日まで 販売枚数 6,000 枚

15 丸亀市滞在型観光誘致促進事業

団体旅行、修学旅行共に、中国・四国エリアからの旅行が大半を占めたが、国内の募集型旅行については、集客が見込めず中止になるケースが見受けられた。海外は、台湾からの問い合わせが増加傾向にある。

(1) 丸亀市コンベンション支援事業

助成件数 計 2 件(スポーツ・救助活動技術大会)

(2) 丸亀市団体旅行等誘致促進事業

助成件数 計 13 件

海外の旅行会社 計 6 件(日帰り旅行 1 件、泊旅行 5 件)台湾

国内の旅行会社 計 7 件(日帰り旅行 5 件、泊旅行 2 件)

(3) 丸亀市修学旅行等誘致事業

助成件数 計 10 件

(4) 丸亀市合宿等誘致事業

助成件数 計 14 件(ほぼスポーツ)

16 観光資源等開発事業

(1) 飯野山観光事業

- ①「讃岐富士マウンテンウィーク 2024」を4月22日（月）から28日（日）まで開催。
4月22日（月）にはオープニングイベントとして「第15回里山まつり」を坂出市と合同で開催した。里山まつり登山客数 405人（飯野町、飯山町、坂出市の各登山口から）
- ②「讃岐富士PR展」を4月1日（月）から29日（祝）までの間、JR丸亀駅構内の中2階ギャラリーにて開催し、讃岐富士の魅力を写真で紹介した。
- ③「ダブルダイヤモンド讃岐富士」については、ため池の安全管理確保の観点から令和6年度もPR活動を自粛した。
- ④「第2回2024年飯野山俳句コンテスト」を実施。
応募期間 8月1日（木）から11月30日（土）まで（106日間）
応募総数 780点
最優秀賞 1作品、優秀賞 2作品、特別賞 7作品 計 10作品
※最優秀賞の作品は令和7年度の飯野山PRポスターに活用した。

(2) 丸亀歳時記事業

丸亀の伝統文化や風物詩を観光資源と捉え、1年を通じ展示やPRイベントを実施した。

イベント名/場所	開催日	内 容
時太鼓打ち鳴らし式 丸亀城大手門広場	6月10日（月） （時の記念日）	時太鼓を打ち鳴らすイベントを開催し、子ども達や観光客に体験していただき大手門（太鼓門）に親しんでもらった。
なごみ・夏・うちわ展 JR丸亀駅構内	7月20日（土）～ 8月18日（日）	うちわの展示と実演DVDを上映するとともに、廃材を再利用したうちわを中心に約20本展示した。
八朔だんご馬 丸亀市役所	9月3日（火）（八朔の日） ～9月6日（金）	旧暦8月1日（八朔の日）に合わせ、子ども達の健やかな成長を願い、市役所で八朔だんご馬の製作実演と展示を行った。初日の実演披露には、城坤幼稚園の子ども達を招き丸亀の祝い文化を体験してもらった。
丸亀城正月事始め 丸亀城内	12月13日（金）（事始め）	新年を迎えるにあたり、市民や観光客を気持ちよくお迎えするため、天守と大手門の煤払いを行った。
ウィンターイルミネーション 2024-2025 JR丸亀駅構内	12月13日（金）～ R7年2月2日（日）	JR丸亀駅南口広場にて、四国職業能力開発大学の協力によりイルミネーションを設置。（点灯式12月13日）
柳もち飾り JR丸亀駅構内	12月23日（月）～ R7年2月2日（日）	正月の伝統行事である柳もち飾りを展示。製作には南条町自治会や西本町の皆様にご協力をいただいた。オープニングセレモニーには、城北こども園の子ども達に柳もちづくりを体験してもらった。

※JR丸亀駅構内で例年展示していた「さぬきの凧」と「紅白うちわ」の展示は、ぶどう棚の劣化により、安全面を考慮し廃止した。

(3) 着地型観光まち歩き事業

歴史や文化など観光地域資源を活用したまち歩きによる着地型観光を実施した。

コース名	開催日	内容	参加者数(人)
「虎に翼」ゆかりの地を歩こう！	10月5日(土)	NHK連続テレビ小説「虎に翼」の主人公、三淵嘉子さんが幼少期に過ごしたゆかりの地を歩いた。	16
「陣の丸古墳群」と丸龍八朔の地を歩こう！	12月7日(土)	県指定史跡である綾歌町富熊の「陣の丸古墳群」を見学後、大原地区の八朔農園に行き、地域ブランド「丸龍八朔」の説明と収穫体験を楽しんだ。	11

17 丸亀市観光親善大使活動事業

第13代丸亀市観光親善大使2名を委嘱し、市の観光PRやイメージアップに取り組んだ。

	出務内容	出務日	出務先
1	丸亀お城まつり	5月3日(祝)	丸亀城周辺
2	城泊オープニングセレモニー	5月21日(火)	丸亀城三の丸延寿閣別館前
3	時太鼓打ち鳴らし式	6月10日(月)	丸亀城大手門広場
4	大相撲丸亀場所チケット先行販売	7月6日(土)	丸亀市民体育館
5	桃喰うまつり	7月15日(祝)	飯山市民総合センター
6	賛助会員総会	7月26日(金)	オークラホテル丸亀
7	四国化成建材(株)感謝の集い	7月26日(金)	丸亀港
8	赤い羽根共同募金運動	10月1日(火)	市役所西側歩道、パワーシティ丸亀
9	大相撲丸亀場所	10月23日(水)	丸亀市民体育館
10	あやうたふるさとまつり	11月3日(日)	綾歌総合文化会館
11	丸亀市シティプロモーション事業	11月18日(月)	中讃ケーブルビジョン
12	丸亀市シティプロモーション事業	12月1日(日)	中讃ケーブルビジョン
13	丸亀市長表敬訪問	R7年3月26日(水)	丸亀市役所
14	こんびら歌舞伎大芝居お練り	R7年4月3日(木)	琴平町内

出務日数 14日 出務延べ人数 26人

18 スポーツツーリズム推進事業

総合運動公園内にある県立丸亀競技場や丸亀市民球場などをホームグラウンドとしたプロスポーツを応援し、観戦サポーターへの案内を行った。

また、観戦者に宿泊施設や観光スポットを紹介したり、飲食店で利用できる「おもてなし割クーポン」の配布やアウェー割を行うなど、市内での消費促進や滞在型観光に繋げ、丸亀の魅力を発信するとともに活性化を図った。

2月1日(土)から2日(日)にかけて開催された第77回香川丸亀国際ハーフマラソン大会において、「にぎやか村」の事務局としておもてなし業務を行った。(参加選手数9,091名 学生・ハーフマラソン含む)

19 レンタサイクル事業

利用台数 9,262台 (所有自転車台数55台、うち電動15台)

電動モビリティ利用(トヨタカーラ提供) 3件 ヘルメット(桃・亀)貸出 1件

利用促進のためのキャンペーンを行い、ホームページやSNSなどでPRを行った。

①10月1日～令和7年2月28日 フォトコンテストを実施した。

応募件数8件 入賞4名

②中津万象園と連携し、レンタサイクル利用者を対象に入園料を割引した。

20 丸亀城内観光案内所おみやげコーナー運営事業

令和6年度は城内資料館で3年ぶりの開催となった「ニッカリ青江公開展～かがやく日本刀の饗宴」に合わせ、10/12（土）から11/17（日）までの期間でプレミアムキャスルと称したイベントを開催し、市内各地で大きな盛り上がりとなった。

ニッカリ青江（日本刀）の公開（※期間入館数：13,700人）に伴い、城内お土産ショップではニッカリ期間限定商品を販売し、全国各地や海外からも多くのニッカリファンの方が来城され、年間で最大のイベントとなったことに加え、ニッカリイベント終了後の通販売上も好調に推移した。（期間来場者数：10・11月合計18,456人）

また物産展関連では、毎年恒例の交流都市である、七尾市、京極町、由利本荘市、小浜市を始め、お城フェス（大阪）や丸岡城物産などに出展し、積極的に丸亀観光や丸亀城のPRを行った。

取引業者関連では、ポートマルシェやローソン丸亀市役所店、四国ショップ88、東温市物産館等に丸亀地場製品の販売を委託し、売上に貢献した。

新商品としては、うづ志ほ名産店の「骨付鳥せんべい」や、とり奉行骨付じゅうじゅうがプリントされたエリート洋菓子店の「じゅうじゅうクッキー」の取扱いを始め、店頭や各種物産で多くの方に購入していただき、売上増に繋がった。

丸亀城では海外直行便の増便やお城ブームもあり、インバウンド客が大幅に増加し、老若男女問わず、年間を通して来城のお客様は多かった。

城内ショップ来場者数 92,033人（うち海外客：9,090人）（※R5年度 90,618人）

21 その他

（1）会員の拡大

会員数 252 会員（3月31日現在）

①入会会員（18 会員）

アパホテル丸亀駅前大通、お好み焼き・鉄板焼き ずまちゃん、本島スタンド ロワール商事、寿あん、NPO 法人 チームフラッグ、マタタビ饅頭店、TANGIERS CAFÉ、(株)NC Group、(株)遊食房屋、エリート洋菓子店、インドダイニング スクーン丸亀店、(有)琴空バス、丸亀万象会、焼き肉 生一本、毛遊び、(株)川田製麺、アトリエ My ステップ、居酒屋 真

②退会会員（9 会員）

高木建設工業(株)、香川県団扇商工業協同組合、BAKERY TRE API、本島漁師 斎藤やすし、東武トップツアーズ(株)高松支店、NPO 法人 日本空手道勇健塾、(株)Fanfair、三洋汽船、らっき

（2）丸亀うちわの宣伝活動

地場産品であり国指定の伝統的工芸品でもある「丸亀うちわ」を丸亀うちわミュージアムやうちわ工房竹において実演販売と製作体験を行った。

場 所	来館者数（人）	体験者数（人）
丸亀うちわミュージアム（中津万象園内）	26,891	6,437
うちわ工房竹（丸亀城内観光案内所）	92,033	693

（３）丸亀城石垣復旧応援募金付「がんばれ！丸亀城カンバッジ」等受託販売業務

平成 30 年の西日本豪雨等による丸亀城石垣崩落に関する募金付カンバッジ等の販売について市文化財保存活用課から委託を受け、丸亀城内観光案内所にて受託販売した。

販売個数 147 個 売上 44,100 円 寄付金額 7,350 円（50 円/個）

（４）各種販売事業

天守等において、丸亀城冊子や丸亀うちわ等を販売した。

また、JR 丸亀駅観光案内所では市内循環バスの回数券や定期券、1 日乗車券の販売および中央商店街発行のゴールドカードとバス回数券の交換業務を行った。

（５）（公社）香川県観光協会「うどん県おもてなしパスポート」への協力

入県・出県審査所およびスタンプラリー協力場として、JR 丸亀駅観光案内所と丸亀城内観光案内所で各受付業務や観光案内を行った。

（６）県事業「うどん県×ヤドン」への協力

香川県と(株)ポケモンによるスタンプラリーの受付業務やコラボ商品の販売を丸亀城内観光案内所で行った。

（７）「マンホールカード」配布の協力

市下水道課が所管しているデザインマンホールの蓋を題材にしたマンホールカードを丸亀城内観光案内所（土日祝）にて配布し、全国から訪れる希望者のニーズに応えた。

（８）立命館大学食マネジメント学部フィールドワークへの協力

令和 3 年 4 月に立命館大学食マネジメント学部と締結した実地研修に関する覚書に基づき、さぬき広島の食を題材として、フィールドワークに取り組んだ。

令和 6 年度は 8 人が参加し、島民やゲストハウス運営者等に学生がインタビューを行い、島の食の魅力を再発掘し、それらを HP として制作・公開し、広く情報発信を行った。

（９）学生の職場体験・インターンシップの受け入れ

JR 丸亀駅観光案内所と丸亀城内観光案内所で市立南中学校 2 年生（1 名）の職場体験とせとうち観光専門職短期大学より 1 名の実習生の受け入れ（約 1 ヶ月間）を行った。

（10）四国家サポーターズクラブ『丸亀にぎわいプロジェクト』第 3 回大集合!!ワクワク体験 Kids 王国 in 丸亀への協力

10 月 19 日（土）の丸亀市キッズウィークに合わせて開催された「第 3 回大集合!!ワクワク体験 Kids 王国 in 丸亀」に当観光協会のブースを出展し、観光宣伝等を行った。

(11) 持続可能な観光推進に向けての取り組み

- ①丸亀市が令和 5 年度、世界の持続可能な観光地 TOP100 に選出されたことを契機に視察や旅行団体を受け入れられるように体制を整え、積極的に誘客へ向けたプロモーションを行った。

＜視察等の受入対応＞

7 月 4 日（木）瀬戸内観光推進機構 FAM 下見対応 4 名（うちわ作り体験）

8 月 7 日（水）YUI 試乗会 7 名（神姫バスのラグジュアリーバスツアーのコンテンツとしてうちわの製作体験）

8 月 7 日（水）那須塩原市議員視察 9 名（GD TOP100 の概要と効果について）

10 月 25 日（金）スペイン団視察 4 名（うちわ作り体験と丸亀城）

11 月 11 日（月）オーストラリアとイギリスの旅行会社の FAM ツアー 6 名（うちわミュージアム見学と中津万象園）

12 月 6 日（金）～7 日（土）丸亀サステナブル視察ツアー 13 名（全国各地より GD-TOP100 に選出された丸亀に視察）

- ②主要テーマである「丸亀うちわ」をはじめ、様々な観光関連素材を基にした地域の持続可能な観光地づくりに関する取組の推進を図った。

- ・丸亀うちわ PR 動画制作と多言語化の実施（約 5 分程度）
- ・大阪関西 EXPO2025 のポータルサイトに「丸亀うちわ製作体験特別 Ver」を申請、掲載中
- ・うちわ作り体験をブラッシュアップし、OTA を活用した販路開拓として OTA サイト Wamazing Play に「世界にひとつのうちわ作り体験」と題し掲載・販売中
- ・世界の持続可能な観光地 TOP100 に丸亀うちわの伝統継承ストーリーが選出されたことを広めるために、記念竹うちわの制作を行った。
- ・職員の GSTC 認証（サステナブルツーリズムの国際基準認証制度）の取得に向けた研修会への参加

(12) 瀬戸内国際芸術祭 2025 支援事業

瀬戸内国際芸術祭 2025 秋会期において、本島会場で販売する丸亀市オリジナルグッズの開発について市まなび文化課より業務委託を受けて取り組んだ。令和 7 年度に商品完成予定。